

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

和泉式部、保昌が妻にて丹後に下り^Aけるほどに、京に歌合ありけるに、小式部内侍、歌よみにとら^Bれてよみけるを、定頼の中納言、たはぶれに小式部内侍に、「^①丹後へつかはしける人は^②参りにたるや。」と言ひ入れて、局の前を過ぎ^Cられけるを、小式部内侍、御簾よりなかば出でて、直衣の袖をひかへて、

大江山いくの道の遠ければまだふみもみず天橋立

とよみかけけり。思はずにあさましくて、「こはいかに。」とばかり言ひて、^③返しにも及ばず、袖をひきはなちて逃げられにけり。小式部、これより歌よみの世おぼえ出で来^Dにけり。

- (1) ～～A～Dを文法的に説明しなさい。
- (2) ①とあるが、誰が何のために丹後へ使いをやったというのか。説明しなさい。
- (3) ②を口語訳しなさい。
- (4) ③について、次の各問に答えなさい。
 - (a) 主語を答えなさい。
 - (b) (a)の人物はなぜこのような行動をとったのか。説明しなさい。
- (5) 「大江山」の和歌の掛詞を全て指摘し、それぞれにかけられている意味を答えなさい。

- (1) A 過去の助動詞「けり」の連体形
B 受身の助動詞「る」の連用形
C 尊敬の助動詞「らる」の連用形
D 完了の助動詞「ぬ」の連用形
- (2) 小式部内侍が、歌合で発表する歌を、母の和泉式部に代作してもらうため。
- (3) もう帰って参りましたか。
- (4) (a) 定頼の中納言
(b) 掛詞を使った見事な歌を小式部内侍に返されて、彼女をからかったことを恥ずかしく思ったから。
- (5) いくの：「生野」と「行く」
ふみもみず：「踏みもみず(行ったこともない)」と「文も見ず(手紙も見っていない)」